

平成22年12月教育委員会会議（定例会）会議録

- 1 日 時 平成22年12月27日（月）午後3時34分～午後5時00分
- 2 場 所 所沢市役所6階 602会議室
- 3 出席者 [委員] 富田常世委員長、清水三和子委員長職務代理者、守谷靖委員、京谷圭子委員、佐藤徳一教育長
[事務局] 山寄裕司教育総務部長、内野正行学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、平塚俊夫学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、則武辰夫社会教育担当参事兼社会教育課長、金子美也子生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、北健志教育総務課長、関口恭一スポーツ振興課長、鈴木正行文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、齊藤仁教育センター所長、川音孝夫学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、山下豊スポーツ振興課指導主事、喜多川通代学校教育課指導主事
[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会 本日の議案は、第33号の1件。議案第33号「平成22年度教育費予算（3月補正）について」は、予算に関する審議のため、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議 題

議案第33号 平成22年度教育費予算（3月補正）について

資料に則り、田中教育施設担当参事兼教育施設課長、則武社会教育担当参事兼社会教育課長、関口スポーツ振興課長、鈴木文化財保護課長、金子生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、斉藤所沢図書館長、中村保健給食担当参事兼保健給食課長、齊藤教育センター所長から説明がなされた。

以下、質疑。

（富田委員長）

工事契約などで差額が生じるのは、入札価額が予定価額を下回るためか。

（田中教育施設担当参事）

競争入札の結果、入札価額が予定価額を下回ったことにより差金が生じるものです。

(富田委員長)

差額はどうなるのか。

(山寄教育総務部長)

差額は一般財源に戻されることとなります。最終的には財政調整基金に組み入れられます。

(富田委員長)

教育委員会で使えるわけではないということか。

(山寄教育総務部長)

そのとおりです。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項

●平成23年度以降の教育課程編成について

平塚学校教育部長から説明がなされた。

以下、質疑。

(佐藤教育長)

近隣の市町村の状況はどうなっているのか。

(平塚学校教育部長)

東京都では月2回を上限とし土曜日の授業を実施してよい旨、教育委員会委員長名で通知しているようです。埼玉県内では、二学期制を実施している越生町が原則として毎月1回、土曜日授業を実施するとしています。また、さいたま市では学校管理規則を変更し、年間で授業実施日数を205日以上とし、夏休みを7月29日から短縮する方向で考えているようで、土曜日授業についても年1回以上実施すると記者発表されています。また、入間市では授業確保のために県民の日、開校記念日のほか12月25日から27日の合計5回を授業日とするとの新聞発表がありました。

(清水委員長職務代理者)

授業時数の確保が目的とのことだが、例えば夏休みを短縮して授業に充てる場合、冷暖房設備がない学校では暑さの問題で厳しいのではないか。また、県民の日はイベントがあるなど、配慮が必要かもしれない。

(平塚学校教育部長)

夏休みを授業に充てることについては、確かに暑さ対策の問題があります。現在、夏休みの開始を1～2日ずらして実施している学校がいくつかありますが、小学校長会からは夏休みを授業日の確保に充てたいという話は特に出していません。小学校では、月曜日から金曜日のなかで授業時数を上乘せすることで対応しようと考えているようです。中学校の場合には、部活動や各種活動の妨げになりかねないということが懸念されます。県民の日には、児童生徒を対象に県の施設が無料開放されたりなど、そこを課業日とすることは児童生徒の不利益となることも考えられます。開校記念日については、その趣旨から考えても比較的、課業日に組み入れやすいのではないかと考えています。いずれにしても、年5日の範囲内で各学校が

判断し実施しようとするものです。現状でも年3回、土曜日に学校公開を実施していることから、今回の見直しは現状とそれほど大きく変わるものではなく、支障も少ないであろうと考えています。

(守谷委員)

小学校の授業時数の増加分は、平日の授業が1～2コマ増えるのかと思っていたが、それだけではまかないきれないものか。土曜日を公開するとなると、そのまかないきれない時数を通常の授業として土曜日に実施することとは少し趣旨が違ってくるような気がするがいかか。

(平塚学校教育部長)

小学校1・2年生は週2時間、3～6年生は週1時間増えることになりましたが、月～金曜日のなかで対応可能な状況にはあります。所沢市では二学期制を実施していますが、これは三学期制に比べて20時間程度、授業時間が多く取れます。これにより、年間の授業時数が35時間増えた場合でも、20時間との差の15時間分を新たに確保すれば、授業時数がカバーできることとなりますので、月～金曜日で対応できると考えたものです。土曜日を授業日とすることにつきましては、週5日制の趣旨では家庭や地域での活動に充てることとされているため、保護者や地域を意識したものにする必要があると考えます。

(守谷委員)

二学期制のメリットにより、現状では20時間程度のゆとりがあるということか。

(平塚学校教育部長)

そのようにも考えられると思います。

(守谷委員)

土曜日に授業を実施する場合、以前のように半日なのか、1日になることもあるのか。

(平塚学校教育部長)

実施主体である各学校の判断になり、様々な工夫ができると考えています。

(京谷委員)

各自治体で授業時数が異なっても問題はないのか。

(平塚学校教育部長)

授業時数につきましては学習指導要領で標準時数が定められており、それから大きく逸脱することはないものです。

(富田委員長)

新学習指導要領の実施に際して、国から具体的な指示は出ているのか。

(平塚学校教育部長)

土曜日を授業実施日にするかどうかなど、教育課程編成に関しては、国や県からの具体的な通知はありません。

(富田委員長)

国は、週5日制で標準時数が確保できると考えている、ということか。

(内野学校教育部長)

7時間授業を実施するか、若しくは6時間授業を週4日実施すれば授業時数は確保できますが、そうすると職員会議や委員会活動、子どもたちと触れ合う時間が少なくなってしまう。各学校で工夫をして、月～金曜の課業日だけで29時間を確保しようとするのではなく、土曜日や開校記念日などに授業を実施することを考えてもいいだろうということです。小学校の場合には、月～金曜の課業日で授業時数がまかなえますが、中学校はなかなか難しく、教育課程編成について頭を痛めているところです。いずれにしても、国からは、土曜日に授業を実施すべきなどの具体的な指示はありません。

(平塚学校教育部長)

現在、中学校の場合には5時間授業の日が2日、6時間授業の日が3日となっています。6時間授業の日を1日増やせば、29時間の標準時数は確保できますが、生徒会活動、学年学級活動、各種行事や部活動などを考えますと、非常に厳しい状況です。休業日に授業実施することは、課業日に各種活動ができなくなってしまうことが懸念されるという課題の解消に道を開くものです。

(富田委員長)

現状では、中学校の年間授業日数はどのくらいか。

(平塚学校教育部長)

中学校の年間の授業日数につきましては、概ね198日です。

(富田委員長)

国は年間200日程度を標準としているのか。

(平塚学校教育部長)

国は新学習指導要領の中で、日数ではなく時数で捉えています。小学校の高学年で週あたり28時間×年35週＝980時間、中学校では週あたり29時間×年35週＝1,015時間を標準時数としています。

(富田委員長)

現状が概ね年間200日とすると、40週の授業日が確保されていることになり、標準の年35週と比較して5週分の余裕があるはずだが、それでもなお5日程度、授業日を増やさなければならない主な理由は何か。

(平塚学校教育部長)

個々の教科の時数が増えておりますので、トータルとして増えてしまうものです。現状で、所沢市では標準時数を上回っていますが、今回の新学習指導要領でさらにそれを上回る時数の確保が必要になるものです。所沢市では二学期制の良さを生かして5日程度で済みますが、三学期制の自治体では、毎月1回土曜日に授業を実施するなどの対応が必要になります。

(富田委員長)

原則として5日の範囲内で実施することについては、よろしいと思うが、あまり増やさないほうがいいと思う。多様な取組でやっていくようにとのことだが、1時間を40分としたり、また45分を15分ずつ3日に分けるというような扱いも可能なのか。

(平塚学校教育部長)

授業の1単位時間につきましては、小学校は45分、中学校は50分を常態とする旨の規定がございます。

(内野学校教育部長)

以前は年間の授業時数が35週の倍数でしたが、新学習指導要領では、1年間に45単位時間の授業を実施する教科もあります。中学校の場合には45回×50分が総枠の標準授業時数になりますので、45分授業だと時数が不足することになります。その不足分を1年間のなかで補っていかうとするものです。その際に、年間の日数を決めてしまうのではなく、校長の裁量により、授業実施日を増やすことで毎日の授業時間を減らすか、逆に授業実施日を増やさずに毎日の授業時間を増やすかを決めていくことになります。

(富田委員長)

小学校におけるクラブ活動は、以前は授業時数に入っていたが、現在では授業時数に入っていないため、+1時間と見なければならぬか。林間学校や体験学習などを授業時数に組み入れることはできないものか。

(平塚学校教育部長)

学校行事などの特別活動につきましては、そのねらい、趣旨を明確にして計画をしっかりと作ったうえで、総合的学習の一環として扱っているところもあります。

(富田委員長)

月～金曜の授業日に宿泊体験学習があった場合には授業時数に入れられ、夏休み中に実施した場合には授業時数に入れられないが、そのような垣根を取り払うように要望できないものか。

(内野学校教育部長)

宿泊体験学習を国語、算数など他の一般の教科と同様に位置づけることができないかということだと思います。例えば国語の授業を週4時間実施するとした場合、週4時間×35週＝年間140時間が国語の標準時数になるというように、教科ごとに標準時数が決められているため、それを宿泊体験学習に安易に置き換えることはできないものです。

(富田委員長)

授業日の体験学習だと時数にカウントできて、夏休みではカウントできないというのは、いかがなものか。

(内野学校教育部長)

体験学習を夏休みに実施した場合にも授業時数にカウントすることは可能ですが、他の学年との年間授業時数に差が生じてしまうことになります。体験学習を学校行事として捉えるか、教科指導として捉えるかは、学校ごとの判断になります。

(富田委員長)

今までは、夏休み中の林間学校や宿泊体験学習は、特別活動であるとして授業時数にはカウントしていなかったと思う。

(平塚学校教育部長)

新学習指導要領では、言語活動や理数教育の充実などに力を入れることとなつています。このことを踏まえ、学校行事の実施については校長会や学校で議論、検討していただく予定です。

(富田委員長)

週5日制の趣旨に沿った進め方をして欲しい。なるべく無理のいかないようにして欲しいと思う。大筋で納得がいくが、他の委員さんはいかがか。

(清水委員長職務代理者)

時数の問題もさることながら、授業の質も重要だと思う。月～金曜日に詰め込むのは能率的でなく難しいと思う。ところで、朝自習を授業時数に換算した例はあるか。

(富田委員長)

関連して、英語の授業を15分ずつ実施し3回で1コマにすると効果的だという指摘もある。

(平塚学校教育部長)

現状ではカウントしていません。いわゆるモジュールという考え方もありますが、年間指導計画の関係などから安易に承認できないと考えており、今後研究していきたいと思ひます。

(富田委員長)

多様な取り組みということで、工夫しながら進めて欲しい。

(守谷委員)

平日のコマ数を増やさない一つ的手段として、土曜日の授業が設定されていると思うが、授業を公開することについて、学校としてやりにくさはないのだろうか。公開しないほうが、行事としてではなく授業として扱い易いということはないか。

(平塚学校教育部長)

小学校の場合には、平日の授業時数を増やすことも可能ですが、中学校の場合は平日の授業時数を増やすことは現実的に厳しいことから、土曜日等を利用して時数の確保をせざるを得ないと考えます。やりにくさがないかということについては、土曜日については現在でも年3回程度、運動会・体育祭や授業公開を実施しており、地域と連携して開かれた学校を作るべく活動しているところですので、特段支障はないと考えます。

(内野学校教育部長)

現在、土曜日に学校公開する場合には、月曜日の時間割で授業を実施しています。今後は、週28コマのうち少ないコマの部分を土曜日等を使って授業実施しようとするものです。

(清水委員長職務代理者)

各学校の校長の裁量で行うとなると、同じ中学校区に属する小学校でも授業時数が異なることがあるということか。土曜日に授業を実施する場合、例えば兄弟で日程が重なってしまうことがあるとすれば、実施の際にきめ細やかな配慮、説明が必要だと思うがいかがか。

(平塚学校教育部長)

現在でも、例えば運動会・体育祭などの行事が小・中学校間で重ならないよう配慮しております。今後、校長会などで検討していただき、中学校間や中学校区内の小・中学校で情報交換したり、事前に保護者へ説明し理解を求めるなどしていこうと考えております。

9 報告事項

- 教育費予算の追加補正について（教育総務課）
- 所沢市公民館運営審議会の答申について（社会教育課）
- 文化ともしび賞受賞者について（社会教育課）
- 第21回所沢シティマラソン大会の開催の報告について（スポーツ振興課）
- 所沢市スポーツ振興計画・計画後期改定案のパブリックコメントについて
(スポーツ振興課)
- ノロウイルスへの対応について（保健給食課）

10 その他

- ・教育委員会1月定例会：1月27日（木）午後1時30分～ 602会議室

11 閉会 午後5時00分

※ 会議開会前に、教育委員全員で当摩市長あて来年度の予算要望を行なった。